

# 偽りの自己の発達と行動

1. イエスが受けた誘惑（ルカ 4,1-13）は、人間の基本的な必要性を表しています。

- 石をパンに変える — 安全・残存
- 飛び降りて人気を得る — 愛情・尊重
- 悪魔を拜んで世界（に対する権力）を手に入れる — 権力・管理

人間の基本的な 必要性	安全・残存 (security / survival)	愛情・尊重 (affection / esteem)	権力・管理 (power / control)
イエスが示した現実	神は唯一な全能者である 神はいつも人間と共にいてくださる	あらゆる愛の源である神が人間を無条件に愛してくださる 神に愛されている人間は尊く、貴重な存在である	神が世界の絶対的な支配者である
人間の基本的な必要性を満たす可能性	神だけが、本当の安全を保証することができる	神だけが、人間に愛を与えることができる	神においてのみ人間は、人生の目標に達することができ、完全に満たされることが可能である。
幸福の条件	神と共にいること	神の愛を受け入れること	すべてを神に委ねること
福音的勧告 キリストが与えた模範	清貧	貞潔	従順

2. 赤ん坊にとって幸福とは、感情の安定です。基本的な必要性が満たされているときに、感情は安定しています。

3. 人間は神の現存と完全な愛の体験なしに、神との親しい交わりを持たずに（原罪の状況の中で）育てられ、いろいろな辛い体験や欲求不満の体験の結果、神、世界、自分を以下のように感じています。このような実感は、この人の感情における世界観となります。

子どもの体験に基づく感情における世界観	世界は危険で、敵に満ちたところ 自己防衛が必要	自分があまり価値のない、惨めな存在 (劣等感)	世界や自分の人生を管理できない 逆らうことができない大きな力に管理され、自分の望みを満たすことができない
---------------------	----------------------------	----------------------------	---

4. 人間は、常に体の化学物質の均衡や精神的なバランス（感情の安定）を保つように、また、崩されたバランスを回復のために働くように仕組みられています

5. 感情の安定を保つために、子どもは、まず基本的な必要性に代わる必要性（象徴）を作ります。この代わりの必要性は後に要求や他人に対する期待となります。これらは、無意識的な価値観となり、隠れたところからこの人の行動を支配します。

<p>代わりの必要性 (象徴)</p>	<p>安心感を与える人、ものや動作。 例：母、おもちゃ、金、健康、仕事、(安心感をもたらす行動としての)性的非行</p>	<p>他人(団体)に受け入れられ、認められること、(他者に認めてもらっている気持ちや他者と繋がっている気持ちをもたらす行動としての)性的非行、他人に愛されるために。ある条件を果たさなければならぬと思う。例えば、相手の期待に応えること。相手を喜ばせること。 自分が大丈夫だと思うこと(本当の確信に逆らって信じ込むこと)</p>	<p>他人や状況の管理 他人に対する権力、社会的な立場 成功、勝利、学歴 (他者を管理している気持ちや相手を好きなように扱っている気持ちをもたらす行動としての)性的非行</p>
<p>幸福の条件(要求)</p>	<p>安心感を与える人やものを所有しなければ幸福にならない</p>	<p>他人に尊敬されなければ幸福にならない</p>	<p>他人や状況を管理しなければ幸福にならない。 管理のできない人や状況を避けなければならない。</p>

6. 人間は、無意識の価値観を知るようにならない限り、多くの場合(例えば逆境や要求不満のときに)、意識的に受けた価値観に逆らって、この無意識の価値観にしたがって行動します。

## 子どもの自己防衛と愛の象徴を得るための役

- ◆ 最初に学んだことは、もっとも強く身に付いています。
- ◆ 人間は、子どもとして家族において果たしていた役割を、大人になっても、自分にとって一番自然な役割として果たし続けます。

### 1. 家族の英雄 (FAMILY HERO)

- 愛の象徴：褒められること
- 特徴：良く手伝う；弱い人を守る；責任感が強い；目標を果たすように努力する；頑張り屋；自分の必要性を意識していない；他人の期待に応えて、喜ばず；大人と共にいることを好む

### 2. 反抗者(贖罪のヤギ) (REBEL ROLE: SCAPEGOAT)

- 愛の象徴：注目を受けること
- 特徴：注目を求めている；問題を起こすことによって、他人の注目を呼び寄せる；周りに合わないゆえに悲しい；強い、暴力的；他人のせいにする；家族との繋がりが薄い；仲間(特に自分と同じような反抗者)との繋がりが強い；劣等感

### 3. エンターテイナー (MASCOT)

- 愛の象徴：自分のことに対して興味を示されること
- 特徴：家族の各メンバーが聞きたいことを知り、それを言う；自分にとって重要で価値のあるもの知らない；皆を喜ばせるために、努力し、皆によく合わせる；歌ったり、踊ったり、冗談を言ったりする；内面的に空っぽ；悲しい、怖がる；精神的に安定していない；仕上がっていないものが多い；気楽になるために面白くないものまで、面白くしようとしている

### 4. 迷子 (LOST CHILD)

- 愛の象徴：叱られていないこと、断られていないこと

- 特徴：距離を保つ；自信がない；問題を起こしたくない；アイデンティティがない；不満や怒りをあまり感じていない；一人で行動する人；自分の必要性を認めない；落ち込みやすい；機械に強い；ペットを飼うことが好む；想像の友がいる可能性が高い；切手やコインの収集を持っている

## 偽りの自己の行動

フラストレーションに対する反応	気性による反応	感情プログラムの表現
<p><b>深い苦悩、深い悲しみ (grief)</b> (愛着した持ち物を忘れたくないこと) 自己憐憫 (れんびん) (self-pity) 落胆、意気阻喪 (discouragement)</p> <p><b>無感動、無感情 (apathy)</b> (生活から退くこと) 退屈 (boredom) 皮肉；反感 (bitterness) 他者に対する嫌悪 (aversion) 怠惰、無精 (sloth) 絶望、失望 (despair)</p> <p><b>欲望、熱意、強欲 (lust, greed)</b> 肉体的や精神的、または 霊的な満足への非常に強い欲望 強制的に自分の欲望に従うこと</p> <p><b>傲慢 (pride)</b> 名声や富や権力への非常に強い 欲望 復讐的な勝利を非常に望む (desire for vindictive triumph) うぬぼれ、慢心；虚栄心 (vanity) 失敗した時自分を嫌うこと</p> <p><b>怒り (anger)</b> 敵意、敵愾心；敵対 (hostility) 復讐の念に燃える</p> <p><b>ねたみ (envy, jealousy)</b> (他人の善のための悲しみ) 競争心 孤独</p>	<p><b>隠退、引っ込む (withdrawal)</b> 受動性や消極性、または悲しみを抑える、我慢する傾向</p> <p><b>攻撃 (aggression)</b> 戦い返す傾向</p> <p><b>依存状態 (dependency)</b> 自分の周りにいる強い人物に頼る傾向</p>	<p><b>物質的 (materialistic)</b> 仕事依存 (workaholism) 所有欲 (possessiveness) 富、お金、財産、資産 贅沢な食べ物、飲み物 スポーツ</p> <p><b>心理的・感情に基づく (emotional)</b> 人を喜ばせる 満足をもたらす人間関係 感情における交換 性的非行 特殊な音楽</p> <p><b>理知的 (intellectual)</b> 学問的卓越 自分がいつも正しい (間違わない) という望み</p> <p><b>社会的 (social)</b> 地位 (業績・地位などによる) 名声、 声望、信望；威信 差別主義 国家主義；民族主義 権威主義</p> <p><b>宗教的 (religious)</b> 律法主義 (legalism) ファリサイ主義 (pharisaism) 偽善(的行為) (hypocrisy) 偏見、先入観 (prejudice) がんこ一徹、偏屈；偏狭な行為 [信念] (bigotry) (ある人・理想・事物への) 礼 賛、崇拜 (cults)</p> <p><b>霊的 (spiritual)</b> 心霊力への執着 霊的な慰めへの執着</p>

**感情：** 語源 中ラテン語 *ImRtiR* より *(I-外へ+movIre 動く+ -tus 過去分詞語尾+ -iRn -ION=外へ動かされた状態→我を忘れること)*